

修了評価の方法、評価者、再履修などの基準

研修修了の認定方法

講義・演習（全出席）出欠簿及びレポート提出による

通信課程の場合、添削指導のレポート提出による

実習（1日6時間以上）実習施設のレポート提出による

全科目研修修了後、1時間程度の筆記試験による修了評価を実施

※添削指導、演習「こころとからだのしくみと生活支援技術」、筆記試験の評価基準は ABCD の 4 区分とし、C 以上で評価基準をみたしたものと認定する。

※上記のレポート提出、演習、実習、筆記試験をみたした者については、修了証明書及び修了証明書(携帯用)を交付する。

評価者

通信添削課題・演習：それぞれの担当科目講師

実習：実習先の責任者と研修機関の実習責任者

筆記試験：A(90点以上)B(80～89点)C(70～79点)D(69点以下)で評価

再履修

通信添削課題：再提出

演習：一定水準以上とみとめられるまで

実習：一定水準以上とみとめられるまで

筆記試験：2回まで再試験あり